

### Ⅲ 吹奏楽のための民謡「うちなーのていだ」／長野雄行

沖縄音階で書かれた、ウィンド・アンサンブルの曲です。とても解り易く書かれていますので、気持ち良く演奏出来ると思います。

全体の構成は、1 種の変奏曲、またはロンドと考えれば良いと思います。考え方によっては、1 種のジャズと思いたくなります。

構成する各部分は、ウィンド・アンサンブルとしての色々な形をとっていますので、セクション・パートごとのアンサンブルの、良いメソッドにもなるのではないのでしょうか。バンドの編成の大小とか、セクション・パートに偏りがあるといった色んな条件があっても、1 度は取り組んでも良いのでしょうか。

セクション・パート間の受け渡しもスリルがあって面白そうで、5 拍子 (3+2) 書かれたリズム感・テンポ感の格好良さは、きっと楽しい気持ちにさせてくれるでしょう。

コンクールのことは少し横へ置いて、良い気分になって沖縄へ出かけてみましょう。

#### <Introduction 1> 【A】 までの 8 小節

F の琉球音階+G (琉球旋法第 2 種) で書かれています。Tuba から Trombone へ駆け上がる Bell-Tone が音階の原型 (琉球旋法第 1 種) です。



この曲の主題になっている『ていんさぐぬ花』(沖縄民謡) は、上記のように、原型となる琉球音階に 1 音加わった、琉球旋法第 2 種が使われています。しかしこの主題は、できるだけオリジナルな形で出てきた方が、より印象が強かったのではないのでしょうか。



この部分は、対位的に書かれた 2 声部を、F と C の 2 音 (テトラコルドの核音) が支える、といった形です。

#### <Introduction 2> 【A】

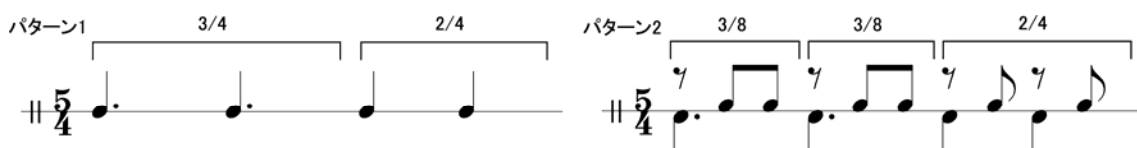
Percussion の連打に全合奏の打ち込み、という沖縄舞踊“エイサー”(伝統的な盆踊りといえれば良いでしょうか) を思わす雰囲気です。Percussion 1 は、Snare off で沖縄打楽器のパーラン

クカシメデークー（締太鼓）、B.D.は抱えて打つウフテークー（和太鼓）を模倣します。打ち込みの和音は、suspended されたコードですが、トップ・ノートによって変化を与えていますから、動くトップ・ノートが鮮明に欲しいですね。



<Introduction 3> 【B】

5拍子の主部に入るためのリズム・パターンが準備されています。この5拍子のパターンには次の2つがありますから、この部分での2小節ずつのパターンで確認してください。



<主題提示部> 【C】

Trombone、Euphonium から Horn、Trumpet とパート間を移動させながら、主題が提示されます（リズム・パターン1）。最後の2小節は、リズム・パターン2で【D】へ進む繋ぎです。



<第1変奏> 【D】

リズムはリズム・パターン2で、アドリブ的なメロディ・ラインはリズム・パターン1と、ポリリズム的な面白さを持った部分です。セクションごとに下降していく動きを、どれだけバランス良く、色彩の変化と自然な流れを持って捉えることができるか、といったところです。セクション間、パート間に技術・表現の差があまりあるようでは、上手いかないでしょう。コード進行は、へ長調のⅠ→Ⅳ→Ⅰ→Ⅴ→Ⅰと進みますから、大変演奏しやすくノリのある楽しい演奏ができます。

<第2変奏> 【E】

ラテン的な感覚のリズム変奏（エイサー感覚）です。ビッグ・バンドのブラス・セクション的な4小節と、弦楽合奏的な4小節からできています。一種のリフと見ても良いのではないのでしょうか。

<第3変奏> 【F】

ベース・ラインによる変奏です。リズム・セクションはパターン1で、メロディはパターン2で進みます。『Take Five』のBassのアドリブなんて考えても、面白いですね。



<主部再現部> 【G】

全合奏で力強く、主部が再現されます。曲の中間に置かれたクライマックスです。全合奏ですから、指定されたアーティキュレーションは絶対的に守ります。

<第4変奏> 【H】

コード進行にIVm→Iの繰り返しを持った、マイナーな雰囲気の変奏です。これまでとは少し違った気分になります。マイナー・6thで流れを切断します。



<終結部> 【I】

沖縄の青い豊かな海、空を見る、大きな広がり of 結尾部です。3度・7度の音を半音下げた、ブルー・ノートが明るい雰囲気の中に、繰り返されるコード進行の中に、ふとフルージーな気持ちを思い起こさせます。そんな Pops フィーリングを楽しめば良いのでしょうか。



<Ending> 【J】

最後 16 分音符で駆け上がる音階は、琉球音階にして欲しかったなあ。



---

2010年度 全日本吹奏楽コンクール課題曲分析

## 課題曲の中の課題 2010

監修・著作：櫛田 肤之扶

編集・制作：株式会社ウインズスコア

配布・公開日：2010年6月1日

楽譜引用元：

広瀬正憲・高橋宏樹・長野雄行・田嶋勉・鹿野草平

『2010年度 全日本吹奏楽コンクール課題曲』全日本吹奏楽連盟、2010年2月1日発行

※本書の著作権保有者は、著作者である櫛田 肤之扶であり、櫛田 肤之扶の協力・許諾のもと、(株)ウインズスコアが本書を制作・配布・公開しております。

※本書に掲載されている楽譜の一部は、『2010年度 全日本吹奏楽コンクール課題曲』からの引用であり、全日本吹奏楽コンクール課題曲の権利は、(社)全日本吹奏楽連盟に帰属します。

※本書の配布・コピー等の利用については、本書の内容・目的を理解した上で、金銭の受け渡しが発生しない場合に限り許可いたします。

※本書を使用するの、第三者との紛争・トラブルが発生した場合、著作者・制作者、及び(社)全日本吹奏楽連盟は一切責任を負いません。